

「ディスカバー農山漁村の宝」(第6回選定) 選定地区及び選定者一覧(案)

【資料2】

N0.01 北海道 遠別町 【若者の活躍】 北海道立 遠別農業高等学校 【概要】 自給率の低い種の<u>羊の飼育・加工・販売</u>を一貫して実施。 【成果】 加工品は<u>ふるさと納税返礼品</u>で取り扱われるほか、<u>ショッピングサイト</u>でも販売。 	N0.02 北海道 津別町 【輸出】 株式会社 山上木工 【概要】 <u>機械力と職人技の融合</u>により、高品質な木工品を安定的かつ効率的に生産。 【成果】 売上は<u>2億円</u>(H30)となるほか、<u>東京オリパラのメダルケース製造</u>に携わる。 	N0.03 北海道 弟子屈町 【農泊】 有限会社 渡辺体験牧場 【概要】 家族で牧場経営、<u>体験ツアー</u>の実施や<u>加工品の開発・販売</u>。 【成果】 ツアー参加者数は<u>約3万人</u>(H30) (うち<u>外国人6千人</u>)のほか、牧場の売上は<u>約1.1億円</u>(H30)。 	N0.04 宮城県 登米市 【6次化】 有限会社 伊豆沼農産 【概要】 米と豚の<u>自社食材</u>を活用した<u>レストランや直売所</u>を開店。 【成果】 H30には、来店者は<u>約15.2万人</u>、売上は<u>約1.5億円</u>。雇用者は5名→<u>35名</u>に増加(H30)。 
N0.05 山形県 上山市 【森林利活用】 上山市温泉アオルト協議会 【概要】 <u>森林を活用</u>した<u>健康ウォーキング</u>を年間360日間実施。 【成果】 ウォーキング参加者は<u>約1.3万人</u>(H30)。健康目的の宿泊者数は<u>約1,700人</u>(H30)。 	N0.06 山形県 天童市 【農泊】 株式会社 やまたさくらんぼファーム 【概要】 地域の温泉と連携し「<u>朝摘みさくらんぼツアー</u>」を商品化。 【成果】 来園者は<u>約2.3万人</u>(H30)。農作業<u>体験ツアー後に直接雇用</u>するケースも発生。 	N0.07 山形県 河北町 【環境保全】 河北町環境学専用水田・水・環境保全推進運営委員会 【概要】 <u>環境学習専用水田</u>(「めだかの学校」)の開設や、<u>特別栽培米</u>「べに花めだか米」を栽培。 【成果】 来訪者は地域人口の2.4倍の<u>約1,000人</u>(H30)。栽培面積は<u>地域水田の35%の24.8ha</u>に拡大(H30)。 	N0.08 茨城県 常陸大宮市 【高齢者の活躍】 J A常陸 奥久慈畑部会 【概要】 耕作放棄地解消のため、高齢者を取り込み、農地で<u>枝物の栽培</u>に取り組む。 【成果】 栽培面積が<u>57.8ha</u>まで拡大(H30)し、<u>約1.2億円</u>の売上。定年帰農者の所得が向上。 
N0.09 群馬県 川場村 【教育機関との連携】 富士山集落活性化協議会 【概要】 <u>教育機関と連携したイベント</u>の実施や、<u>棚田オーナー制度</u>にも取り組む。 【成果】 棚田オーナーは16人(H29)→<u>56人</u>(H30)に増加。イベントにより、<u>若者との交流</u>が進んだ。 	N0.10 埼玉県 熊谷市 【6次化/SNS活用】 TATA GREEN株式会社 【概要】 <u>さつま芋の加工・販売</u>に取り組むほか、「<u>カッコイイ農業</u>」を目指し、<u>SNS</u>等で魅力を発信。 【成果】 売上は<u>約7,400万円</u>(H30)。SNSのフォロワー数は<u>4,000人</u>(H30)。 	N0.11 東京都 渋谷区 【都市農業】 東京NEO-FARMERS! 【概要】 都内や周辺地域の就農予定者が、<u>田舎に就農できる環境整備</u>に取り組む。 【成果】 新規就農会員数は19名(H26)→<u>44名</u>(H30)に増加。会員間での情報交換会も実施。 	N0.12 静岡県 島田市 【輸出】 杉本製茶株式会社 【概要】 後継者確保等のため、国内の中小製茶企業に先駆け、<u>輸出事業</u>に着手。 【成果】 販路開拓の結果、現在では<u>22ヶ国へ輸出</u>を行い、茶・抹茶輸出売上高は<u>約5億円</u>(H30)。 
N0.13 新潟県 上越市 【新しい産地づくり】 株式会社 岩の原南園 【概要】 ぶどう栽培の<u>手引書</u>を発行するなど、地域の<u>生産性向上</u>に貢献。 【成果】 ワインの売上は<u>約4.3億円</u>(H30)のほか、<u>G20大阪サミットで使用</u>された。 	N0.14 石川県 白山市 【若者の活躍】 石川県立 翠星高等学校 食科学科研究会 【概要】 「<u>廃棄果皮のシステム</u>」を構築し、全国展開を語るため、SNS等でPR。 【成果】 廃棄果皮消費量が<u>324kg</u>まで増加。<u>SDGs達成に貢献する施策</u>として事例発表。 	N0.15 石川県 津幡町 【環境保全】 河北町千石土地改良区 【概要】 「<u>ひまわり村</u>」を開村し、イベント等を通じて、干拓地の理解醸成を図る。 【成果】 入村者は<u>2.9万人</u>(H30)。地域の夏の風物詩として定着。 	N0.16 福井県 小浜市 【若者の活躍】 株式会社 若菜町産 【概要】 景観作物のひまわりを緑肥とした<u>米の開発・直販</u>に加え、<u>レストラン</u>も開設。 【成果】 米の売上は<u>約1.1億円</u>(H30)。社員全員が<u>40代以下</u>で正規雇用は3人(H27)→<u>11人</u>(H30)に拡大。 
N0.17 愛知県 西尾市 【農泊】 西尾南部ベイエリア協議会 【概要】 教育機関と連携し、<u>うなぎを使用</u>した体験プログラムや新商品を開発。 【成果】 H29から活動を開始し、売上は<u>約1.5億円</u>(H30)。宿泊者数は<u>9千人</u>(H30)。 	N0.18 愛知県 新城市 【環境保全】 鞍掛山麓千枚田保存会 【概要】 教育機関と連携し<u>体験学習</u>等を実施するほか、<u>COP10の誘致</u>にも貢献。 【成果】 棚田見学者は<u>2.5万人</u>(H30)。COP10を機に、<u>海外からの視察</u>が増加。 	N0.19 三重県 四日市市 【輸出】 ミナミ産業株式会社 【概要】 高付加価値大豆の普及を図るほか、大豆製品を海外<u>28ヶ国へ輸出</u>。 【成果】 輸出額は<u>5,100万円</u>(H30)。新規開業事業にも取り組み、<u>65店舗</u>の開業に貢献。 	N0.20 京都府 京田辺市 【農福連携】 さんさん山城 【概要】 廃園予定の茶園を継承し、<u>農福連携</u>に取り組む。障がい者を中心としたカフェも開設。 【成果】 カフェへの来店者は<u>約8,300人</u>(H30)。取組が<u>SDGs国際会議で報告</u>され、高評価を獲得。 
N0.21 大阪府 河南町 【食育・教育】 農事組合法人かなん 【概要】 <u>食農教育</u>に積極的に取り組むほか、地場農産物を使用した加工品を開発・販売。 【成果】 直売所の売上は<u>約2.9億円</u>(H30)。すべて<u>町内産野菜を使用</u>する給食を年4回実施。 	N0.22 鳥島県 大田市 【6次化】 株式会社 魚の屋 【概要】 <u>天然わかめを活用</u>した加工品の開発・販売。作業の一部を障がい者施設等に委託。 【成果】 売上は3,000万円(H26)→<u>3.5億円</u>(H30)に増加し、<u>漁師の所得向上</u>に貢献。 	N0.23 広島県 北広島町 【農村文化体験】 淳粋亭 【概要】 地元産野菜を使用した<u>イタリアン精進料理</u>を開発・提供。読経や説法とあわせて実施。 【成果】 来客者は年間<u>約2,000人</u>(H30)。スタッフとして、地域住民を雇用。 	N0.24 山口県 萩市 【高齢者の活躍】 株式会社 三見シーマーズ 【概要】 <u>規格外魚を使用</u>した弁当や総菜を加工・販売。宅配やレストラン運営も実施。 【成果】 弁当は年間<u>2万食</u>、高齢者への宅配は年間<u>1,000食</u>(H30)。レストランの来客者は<u>3.5万人</u>(H30)。 
N0.25 愛媛県 宇和島市 【若者の活躍】 愛媛県立 宇和島水産高等学校 水産食品研究部 「フィッシュガール」 【概要】 県産魚PRのため、国内外でマグロの<u>解体ショー</u>や、魚食の<u>表演販売</u>を実施。 【成果】 解体ショーは国内では年間<u>約30回</u>(H30)のほか、高校施設で開発した加工品としては<u>国内初となる米国輸出</u>を実現。 	N0.26 愛媛県 八幡浜市 【6次化/GAP取得支援】 農業生産法人 株式会社ミヤモトオレンジガーデン 【概要】 「<u>GAP取得認証支援システム</u>」を開発し、他者の取得を支援。廃棄していた<u>摘果みかんを加工品</u>に開発・販売。 【成果】 売上は<u>1.6億円</u>(H30)。開発した支援システムにより、農業高校等での<u>GAP取得に貢献</u>。 	N0.27 高知県 越知町 【高齢者の活躍】 農事組合法人 ヒューマンライフ士佐 【概要】 高齢者でも作業ができる生薬を<u>製薬会社との契約栽培</u>で生産。 【成果】 生薬の売上は年間<u>5.5億円</u>(H30)。契約農家は<u>500戸</u>で、栽培面積は<u>130ha</u>(H30)。 	N0.28 佐賀県 伊万里市 【環境保全】 すみや瀬田町会 【概要】 荒廃した棚田を整備し、<u>企業と連携</u>した体験や販売などを実施。 【成果】 純米酒が仏の品評会で<u>金賞受賞</u>(H28)。ケーブルTV、大学などと多様な<u>情報発信</u>を展開。 
N0.29 宮崎県 五ヶ瀬町 【農村文化体験】 特定非営利活動法人 五ヶ瀬自然学校 【概要】 地域資源を活かした<u>エcoresourism</u>や、周辺地域への<u>ボランティア支援</u>を実施。 【成果】 自然体験イベントは延べ<u>1,000人以上</u>が参加(H30)。 	N0.30 長崎県 大村市 【6次化】 有限会社 シュシユ 【概要】 <u>地元農産物を使用</u>した商品開発・販売のほか、<u>食育・収穫体験</u>等も実施。 【成果】 売上は<u>3.9億円</u>(H30)で、体験者数は<u>計約3万人</u>(H30)。常時雇用職員の<u>8割が女性</u>。 	N0.31 鹿児島県 南さつま市 【農福連携】 株式会社 南風ベジファーム 【概要】 野菜の栽培や農産物加工に取り組み、<u>障がい者</u>を多く雇用。 【成果】 農業出荷額は<u>1.8億円</u>(H30)。開業5年で障がい者40名を含む<u>60名</u>の雇用を創出。 	個人01 東京都 檜原村 【伝統継承】 高橋 亨(たかはし とおる) 【概要】 野菜の原料となる在来種で絶滅危機種の「<u>ムラサキ</u>」の栽培・育成・活用の<u>伝承者</u>。 【成果】 <u>教育機関と連携</u>した活動などを通じ、<u>原料の安定供給</u>に向けた取組に従事。 
個人02 石川県 能登町 【環境保全】 上乗 秀雄(じょうりゅう ひでお) 【概要】 故郷の<u>里山を再開発</u>し、<u>自然体験村</u>「ケロンの小さな村」を創設。 【成果】 来村者は子ども4,000人を含む<u>5,000人</u>(H30)。自作絵本の読み聞かせ等の参加者は<u>2,000人</u>(H30)。 	個人03 岐阜県 恵那市 【移住・定住】 大島 光利(おおしま みつとし) 【概要】 過疎化に伴い増加した空き家をリフォームし、<u>移住・定住の促進</u>に取り組む。 【成果】 H23以降<u>28軒</u>の空き家を改修し、<u>70名</u>の移住に貢献。 	個人04 三重県 多気町 【農村文化体験】 北川 静子(きたがわ しずこ) 【概要】 地元農産物を使用した料理の提供や体験等を通じ、<u>農村の文化や技術を伝承</u>。 【成果】 レストラン来客者は年間<u>9.5万人</u>(H30)。雇用の人件費等、地域への貢献金額は<u>6,000万円</u>(H30)。 	個人05 徳島県 阿南市 【食育・教育】 新居 希予(にい きよ) 【概要】 農家として、農業や地域の魅力を各種メディアで<u>情報発信</u>。 【成果】 無農薬米の栽培面積は、<u>当初の10倍</u>に増加。地元ケーブルTVで<u>番組を監修</u>。 

(注) 緑色：「コミュニティ部門」選定地区、青色：「ビジネス部門」選定地区、桃色：「個人部門」選定者